

会 議 録

会議の名称	第2回 池田市水月児童文化センター・児童館指定管理者選定・評価委員会		
日 時	平成30年9月27日(木) 開会 午後2時00分 ・ 閉会 午後3時30分		
場 所	池田市中心公民館 2階会議室A		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉嘉夫 ・谷井道代 ・名村研二郎 ・衛門昭彦(総合政策部部長) ・齋藤滋(教育部部長) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《事務局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田上教育部次長 ・武田生涯学習推進課長 ・則政生涯学習推進課主任主事 ・芝原生涯学習推進課主事 </td> </tr> </table>	<p>《委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉嘉夫 ・谷井道代 ・名村研二郎 ・衛門昭彦(総合政策部部長) ・齋藤滋(教育部部長) 	<p>《事務局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田上教育部次長 ・武田生涯学習推進課長 ・則政生涯学習推進課主任主事 ・芝原生涯学習推進課主事
<p>《委員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉嘉夫 ・谷井道代 ・名村研二郎 ・衛門昭彦(総合政策部部長) ・齋藤滋(教育部部長) 	<p>《事務局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田上教育部次長 ・武田生涯学習推進課長 ・則政生涯学習推進課主任主事 ・芝原生涯学習推進課主事 		
欠席者	なし		
傍聴者	0名		
議長	小倉嘉夫会長		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 池田市立水月児童文化センター指定管理者申請者のプレゼンテーション及び質疑応答 2. 池田市立水月児童文化センター指定管理者申請者の評価採点及び指定管理者候補者の選定 3. 池田市立児童館指定管理者申請者のプレゼンテーション及び質疑応答 4. 池田市立児童館指定管理者申請者の評価採点及び指定管理者候補者の選定 		
配布資料	別紙資料一覧のとおり		

議 事 経 過

(これまでの経緯の説明／事務局より)
・ 今回の公募での指定管理者の申請は、池田市立水月児童文化センター・池田市立児童館ともに現指定管理者の1団体。
・ 10分間のプレゼンテーション、10分間の質疑応答の後に評価採点を行う。
・ プレゼンテーションと質疑応答は公開、評価採点は非公開で実施。
議題1 池田市立水月児童文化センター指定管理者申請者のプレゼンテーション及び質疑応答
・ 指定管理者申請者： 特定非営利活動法人北摂こども文化協会
・ 発表者： 3名（館長 他2名）
・ 発表時間： 10分
・ 発表内容： 指定管理者申請資料に沿って説明
(質疑応答)
委員 常勤と非常勤の単価を同じ単価で計上しているが、時間数など勤務体系については。
申請者 どうしても人数が必要である時間帯に非常勤を配分している。1日数時間のパートという認識ではなく、一緒に事業を実施する仲間という位置付けであり、職員の経済的な喜びも重要だと考えている。最低賃金の上昇や、同一労働同一賃金の流れで差が無くなっていることもある。
委員 経費について。コピー機のリース料が平均より高額に感じるが、何台分なのか。
申請者 台数は2台分。
委員 2台にしては少し高額に感じるので、見直しや相見積もりも検討しては。
委員 子どもの頃の利用者が、成長して居場所作りへの参画するなど、長年運営されてきたことによる担い手の循環は大変共感できる。運営している中で、今後の課題と覚えることはあるか。
申請者 関係性を長年続けていくことは重要だが、良い循環が生まれた時に、その関係に安心してしまい、次の新しい世代との交流が疎かになってしまっは続けていけないので、そこは常に意識している。また、スタッフが変わってしまうことはできるだけ避けたいが、もしスタッフが変わっても、組織として繋がれる場作りを意識している。また、対象は小中学生となっているが、法定の17時までの運営では中学生は参加できない。そこで、職員と相談し合意の上で、開館時間を延長した。世代間の交流も生まれるなど、とても意義のある活動だが、その人件費は計上できないため、職員の理解で成り立っている。社会教育施設として、職員の気持ちで成り立つだけのものではなく、相応な経済的な裏づけも必要だと感じている。
委員 来館者数の推移について、29年度が多くなっているが、カウント方法を変えたからなのか。また、クラブや行事の平均的な参加者数は分かるか。
申請者 出来る範囲で分析し、数に加えた。29年度の1年間で、定期クラブは延べ1832人、月例サークルは延べ1337人、施設単発行事は延べ1849人。残りの分が日々遊びに来る子どもたちである。
委員 事業が年々増えていっているようだが、経費内訳によると、謝金などそこまで大きな金額を

計上していないよう。ボランティアの活用などで対応しているのか。
申請者 NPOネットワークの初期加盟者であるので、ボランティアを探したり、協賛者として通常より安価な謝金で対応してもらったりしている。また、市民提案事業に関してはその方自身がボランティアで実施してくださることも多い。だが、例えば芸術活動に関しては、本来は正当な報酬を支払うべきなので、一概にこれで良いとは言えないが、他の部分で貢献しつつ引き受けていただいている。
(質疑応答終了、申請者退出)
議題2 池田市立水月児童文化センター指定管理者申請者の評価採点及び指定管理者の選定
・評価採点に先立ち、指定管理料審査の配点を事務局より説明。
・各委員による評価採点を実施。
・評価採点の結果、特定非営利活動法人北摂こども文化協会が91.5点となり、同協会を次期指定管理者として選定することを決定。
議題3 池田市立児童館指定管理者申請者のプレゼンテーション及び質疑応答
・指定管理者申請者： 教友会（池田市退職教職員友の会）
・発表者： 3名（館長 他2名）
・発表時間： 10分
・発表内容： 指定管理者申請資料に沿って説明
(質疑応答)
委員 29年度の決算報告に載っている「パフォーマンスチャージ料」とは何か。また、経費削減の方法として、人件費の削減を挙げているが、実際にはなかなか難しいのではないかと感じる。実現に向けて、何か具体的に考えていることがあれば。
申請者 「パフォーマンスチャージ料」は、コピー機のカウンターに応じて支払う料金のことで、請求書の文言の通りに記載している。また、今年度の予算1370万のうち、人件費と講師料で1200万を占めている。節減方法として、ボランティアやふくまる教師塾の学生、地域の高校生などに交通費だけで来てもらっている。今後も事業内容を薄めることなく、そういった部分で経費削減していく予定。
委員 ここ数年の入館者の推移については。
申請者 総来館者数は、5年前には17599人で、昨年度は17407人。全体として子どもの人数が減ったことと、ほそごう学園に統合されたことで放課後に歩いて来る子どもが減ったため、微減していると考えます。教室活動は定員制で運営しているため、参加人数に変わりはない。また、教室活動は3年スパンで実施しており、この期間中は安心して預けていただいているため保護者の来館者数がだんだんと減ってくるのだが、今年度から新しく教室活動が始まったため、今年度は保護者の来館者数が増えるかと予想している。
委員 29年度に計上されている修繕費の内容は。
申請者 建物が1972年建設で、雨漏りが多く、その修繕のために使用した。講師料を削減し、

<p>修繕費に充てた。</p>
<p>委員 教友会の会計決算報告で、支出に「児童館事業」と書いてあるが。</p>
<p>申請者 教友会の総会などの印刷物を準備する際に、児童館のプリンターを使用することがあり、その分、コピー用紙を補助してもらっているかたち。</p>
<p>委員 ほそごう学園エリア以外の利用者はどのくらいいるか。</p>
<p>申請者 9割近くがほそごう学園。教室活動には、池田小・神田小・秦野小から数名来ている。安全面から、その児童は保護者に送り迎えしてもらっている。なお、市内学校園には児童館だよりを配布している。</p>
<p>委員 校外学習での利用についてはどういった状況か。</p>
<p>申請者 緑丘小学校以外は校外学習で利用している。浄水場見学と共に来ている学校が多い。校外学習時には、パワーポイントで写真を見せながら説明している。</p>
<p>(質疑応答終了、申請者退出)</p>
<p>議題4 池田市立児童館指定管理者申請者の評価採点及び指定管理者の選定</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・評価採点に先立ち、指定管理料審査の配点を事務局より説明。 ・各委員による評価採点を実施。 ・評価採点の結果、教友会（池田市退職教職員友の会）が89.8点となり、同団体を次期指定管理者として選定することを決定。
<p>(次期指定管理者決定、指定管理者選定・評価委員会終了)</p>